

ひとりからできる！

まち並み 景観づくり ハンドブック



はじめに

市川市では、誰もが気持ちよく過ごせる「都市(まち)」であるために、「美しいまち並みづくり」、「景観づくり」を進めています。

これまで、たくさんの市民のみなさんから応援や参加したいと声をかけていただきました。しかし、「何をすれば良いのか、できるのかわからない。」というお話がありました。

街角でインタビューしてみました。



森とか川と同じで、知らない間にできて変わっていくものでしょ。



なんかすごく規模のデカイことって感じがする。



まちづくりって専門家がやるんでしょ？



『まち並み景観づくり、どう思いますか？』

聞いたことないし、自分とはとくに関係ないよ。



国や市だけがやってるんじゃないの？



とても良いと思うところはあるけど、誰に話せばいいかわからない…。



「まち並み」や「景観」は、私たちの暮らしの風景。

まちの印象となる大切なもの。

そして、誰もがづくり手であり、参加者です。

そこで、「ひとり」でも「お友達やご近所さんと一緒」でも、今すぐ始められる「まち並み景観づくり」のハウツーをまとめることにしました。

このハンドブックを手に取ったみなさん、ここにたくさんのヒントが描かれています。できることややりたいことが見つかると思います。

一緒に、気持ちよく過ごせる暮らしの風景を、楽しみながらつくりましょう。



目次

ハンドブックの使い方	02
市川市ってどんな「都市(まち)」？	04
まち並みハウツー ひとりでできる編	07
まち並みハウツー つながると、いいね！編	27

ハンドブックの使い方

ハウツーを知る

花や木を使ったり、地域のイベントに参加してみたり。ハウツーを知るところから始めましょう。きっと、誰にでもなじみのある方法が見つかるはず。



ハウツーをやってみる

実際にハウツーをやってみましょう。本書のハウツーにステップはありません。始めやすいもの、やってみたいもの、どれから始めてもOKです。

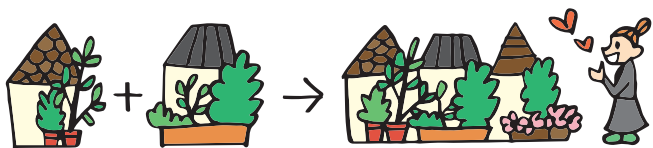


ひとりでできる編 P.7

ハウツーをつなげる

「ひとりでやるハウツー」から「みんなでやるハウツー」へつなげてみましょう。いくつかを組み合わせ、自分だけのやり方を見つけましょう。

つながると、いいね! 編 P.27



まち並み景観づくりの スタート!!

お隣さんと
あいさつをする

ひとりで?

塀を緑に
してみる

家の前を
きれいにする

一緒にガーデニングを
やる

好きなことから
やってみよう、つなげてみよう。

地域のイベントに
出かけてみる

まち並みに
なじむ色で外壁を
塗り替える

自分の家と家の前の
通りの風景をつなげる

家や塀の
材質を考えてみる

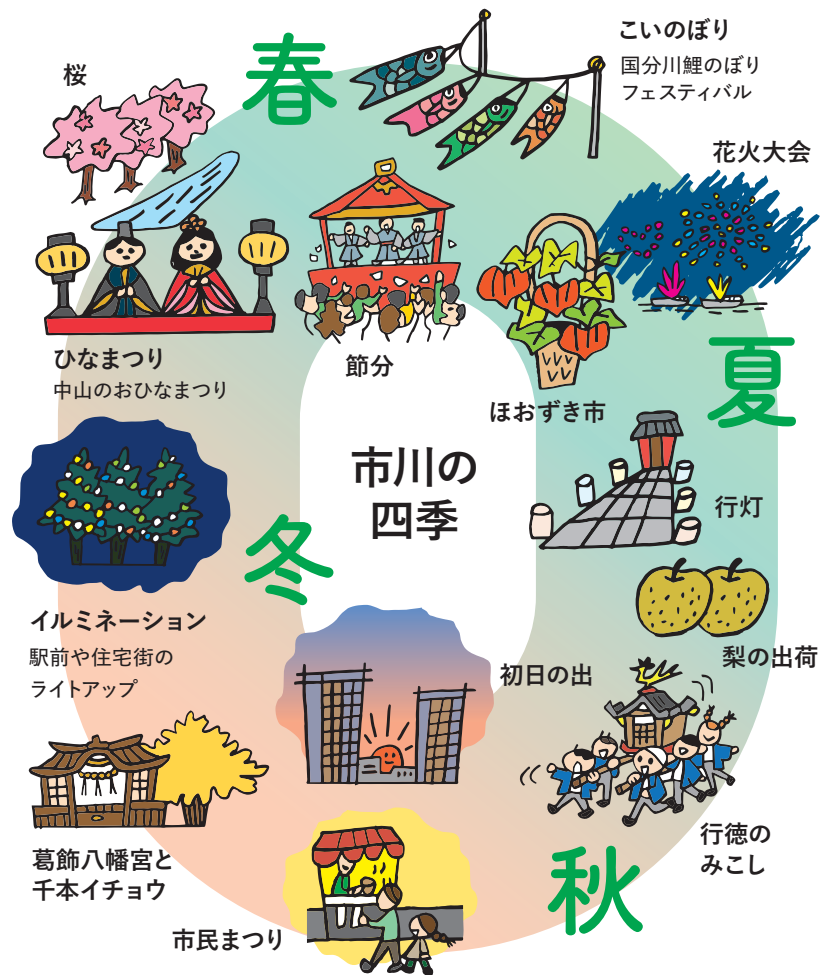
みんなで?

市川市ってどんな「都市(まち)」？



高台から平地まで住宅が建ち並ぶ“住宅都市”

- 鉄道は7路線、駅は16駅、東京都心まで電車で約20分、通勤や通学、買い物にも便利な都市
- 川や海、樹林地や植物園、自然に触れ合える都市
- 歴史や文化が守られている都市



四季折々の表情がある“季節を感じられる都市”

- 自然の代表の農地、川や海の旬の景色
- 地域の成り立ちにちなんだ祭り
- 暦に記される季節ごとの祝い事や慣わし
- 市が企画する数々のイベント

まずは、
自分のまちを
見てみよう。



主人公：市川景子さん

散歩してみましょう。
サイクリングもいいかも。
なんとなく通り過ぎている道、
ながめている風景。
気づいてないことが
いっぱいあるはず。

まち並みハウツー ひとりでできる編



まち並みをもっと良くするために、ひとりでできることもたくさんあります。好きなこと、やってみたいことから、始めてみましょう。



まちを案内する

お友達や親せきに、どこを案内しますか？

市川で連れて行きたい場所、見せたい風景、お食事やお休み処など。

半日コースを作ってみましょう。

☑ あなたがまちのガイドになってみよう

場所の特徴や歴史を調べてみましょう。面白ネタも探してみてもいい？



市川の好きなところを見つける

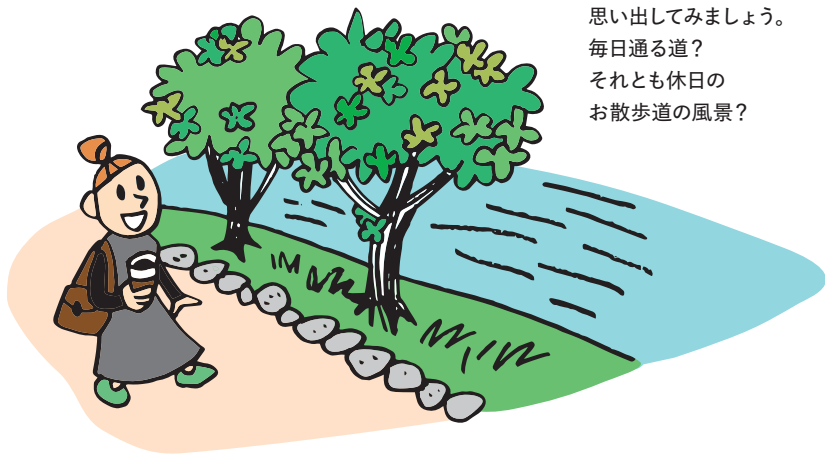
いつもの風景、何気にいつも立ち寄るところ、

休日に出かけるところ、季節の行事、

あなたの住むまち市川で思い浮かぶ風景は何ですか？

☑ いつもの風景

当たり前過ぎる
身近な風景でも、
思い出してみましょう。
毎日通る道？
それとも休日のお散歩道の風景？



☑ よく行く場所は？



毎日通勤で使う駅も、
買い物をするお店も、
あなたの身近な風景。

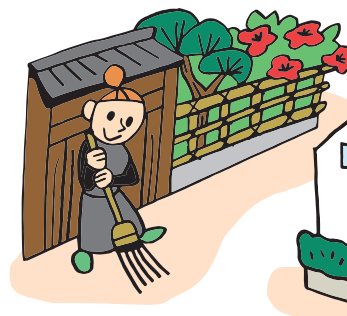


花と木で暮らしに彩りを

暮らしを快適にしてくれる花と木は、使い方もいろいろ。

花と木 1 | 隠す・仕切る

ブロック塀やフェンスを花や木に変えてみましょう。家の中から見ても、外から見ても、緑がいっぱいの生き生きとした気持ちの良い風景に。

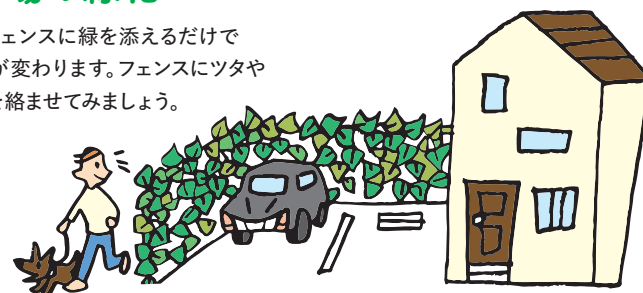


生垣・竹垣

生垣はプランターより地植えができる樹木がベスト。和風のおうちには、竹垣や板塀が似合います。

駐車場の緑化

駐車場も、フェンスに緑を添えるだけでまちの印象が変わります。フェンスにツタやつる系の花を絡ませてみましょう。



P.13の 駐車場の緑化も見てください。

マナーと気づかい

清潔にするために、掃除をしますよね？ 家の外も同じです。
道路や公園もきれいに使いましょう。
誰もが心地よく暮らせるように一人ひとりがマナーを守りましょう。

家のまわりもきれいだといいいね



玄関のついでに家の前もきれいにしましょう。
ゴミ出しもルールを守って清潔に。

まちのマナーを守ろう



歩きたばこやゴミのポイ捨てはもってのほか。
犬のフンやゴミは持ち帰りましょう。

花と木 2 | 飾る・見せる



家で育てる植物やお花の美しさを、みんなで分けあいましょう。まわりの人がちょっとうれしくなる見せ方はどんなシーンでも可能です。

☑ 通りに面する花や木

玄関や門に小さな鉢やプランターを置いてみましょう。
自分が見てきれいと思えるお花や木々は、道行く人の笑顔を呼ぶでしょう。

戸建て住宅の場合



お店の場合

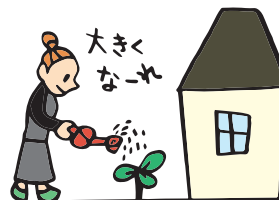


マンションやアパートの場合



ベランダも飾りがいのあるスポット。
お店の前にも花や木が増えればぐっとおしゃれに。

☑ シンボルツリー



お庭に植える1本の木が、
家族だけでなく地域のシンボルに。時間をかけて育てれば、愛着もわきます。



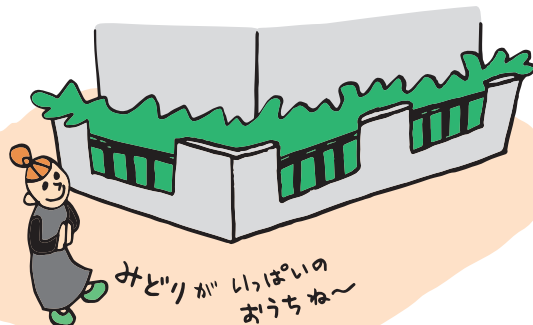
☑ 駐車場の緑化

駐車場にも緑があると気持ち良い。芝生がアクセントになって、見た目にも優しい。

P.11の ☑ 駐車場の緑化も見ましょう。

☑ 塀を工夫

塀を透かしにするなど工夫してみましょう。
家の人も外の人も心地良い気分になるはず。



花と木 4 | 食べる・生き物を呼ぶ

食べることはみんな大好き。せっかくなら、季節の変化や遊びに来る蝶や鳥を楽しみましょう。育った実は感謝しておいしくいただきます。

実のなる木



みかんやレモンの柑橘系、秋に実をつける柿や栗の木も素敵。

野菜を育てる



子どもと一緒に育てた野菜。サラダがもっとおいしくなるでしょう。

野菜ストリート



ご近所と一緒に野菜を育てれば、収穫祭のイベントもできそう。

生き物が来る花や木



鳥の声で目覚めたり、子どもが虫と遊んだりするだけで心が豊かに。

花と木 3 | いかす

植物は見た目の美しさだけではありません。夏は涼し気に、空気もきれいにします。安全・防災にも役立ちます。

緑のカーテン



見た目も涼やかな緑のカーテンは日射しを防ぐ効果も。

屋上緑化



屋上緑化は家の中の温度を下げるので、中にいる人も涼しい。

コンクリートブロック塀を生垣に



コンクリートブロック
細い道を歩いているとき、地震が起きたら倒れてきて危ない!



生垣
地震でも倒れないし、人影も見えて、防犯上もgood!

6 合わせる

花や木を植えるとき、お隣さんと色や種類を合わせてみましょう。
風景がつながり、より美しく見えます。育てるポイントなどの情報交換もできて一石二鳥。

□ 同じ花や木を植えてみる



花や木をお隣さんと一緒に合わせてみましょう。
仲良くなるきっかけに、園芸屋さんへ一緒に出かけてみては？

□ 緑でラインをつくる

通り沿いに緑のラインをつなげれば、まちに一体感が出る。



5 楽しむ

風に葉が揺れる音、漂う花の香り、鮮やかな花の色。花や木は感じる楽しみをくれます。道行く人の感激も楽しみのひとつ。

□ オープンガーデン



□ ガーデニング



□ 香りを楽しむ

春にはモクレン、秋はキンモクセイ。
花の香りが季節を伝えます。



□ 音を楽しむ

風が吹いて葉のそよぐ音が聞こえると、さわやかな気持ちになるのはなぜでしょう？



材質を見る、合わせてみる

自然が多いところか、寺町など歴史あるところか、新築の戸建て住宅やマンションが並ぶところか。建物や塀は何でできているか。材質を見て、合わせてみましょう。

自然素材は落ち着いた印象

自然が多いところや、寺町など歴史あるまち並みには、木や竹がぴったり。



まわりと合わせればまちのイメージが変わる

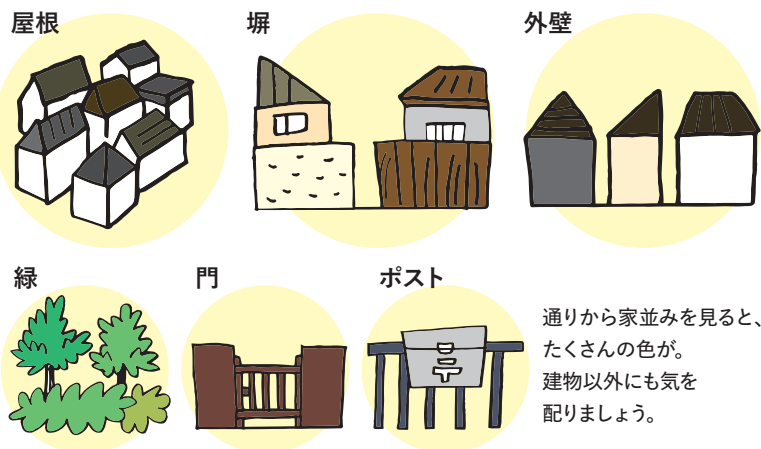


色を見る・色を使う



色がまち並みに与える影響は絶大。まわりの家々や風景と連続する落ち着いた色を選びたいところです。木や石など、自然にある色もおすすめ。

色が選べるところはいろいろある



通りから家並みを見ると、たくさん色が。建物以外にも気を配りましょう。

まわりを見る



家のまわりはどんな建物？ どんな色が多い？

派手な色はやめる



思いきって変えてみる

おうちのリフォーム、お店のリニューアル……。そんな機会にまわりとの調和を考えてみましょう。色や材質、地域の雰囲気など、観察の成果をいかすチャンスです。

☑ 外壁やシャッターをリニューアル

塗る

ペンキ
などで
塗り替え

張る

外装を別の
素材に
張り替え

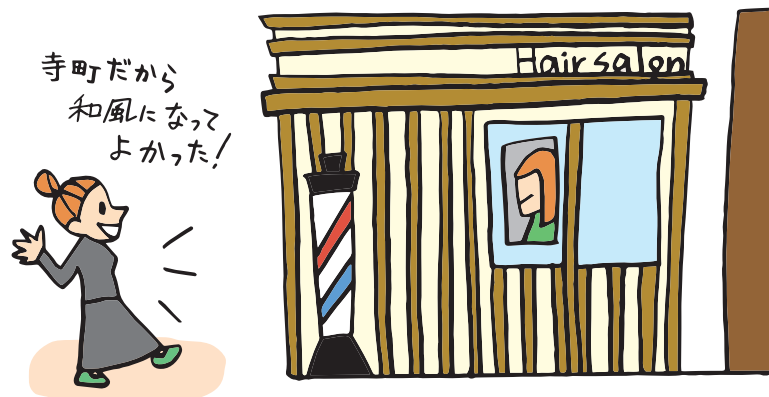
足す

格子戸や
看板を新たに
付け足す

ビフォー



アフター



ちょっとした工夫をする

部屋の模様替えをするように、家のまわりにもアイデアを。ちょっとした工夫がきっかけで、まちの風景もぐんと良くなります。

☑ かわいいプランターで玄関まわりを演出

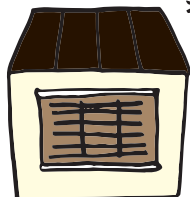


☑ 室外機を隠す

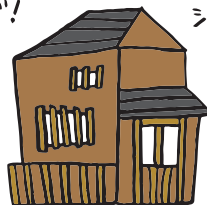


☑ 和の風情

趣が増す
すだれや、
格子窓でグッと
和風に。



見た目にも
涼しいぞ!



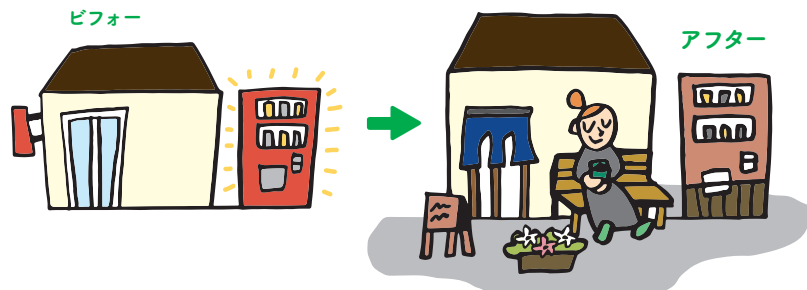
和風で
シック!

☑ お店まわりの工夫

入口にベンチや植木鉢を置いたり、
のれんをかけたり、工夫しましょう。

ビフォー

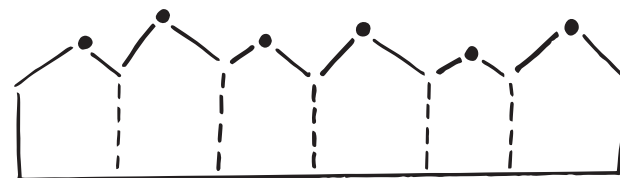
アフター



まちのリズムを考える

リズムがバラバラで単調な音楽は味気ないですね。まちも同じです。少し遠くからながめて、家々がつくり出すリズム、まちが奏でる音楽を感じてみましょう。

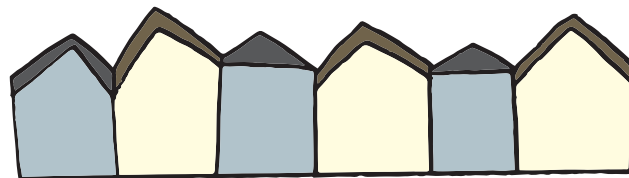
☑ 屋根の形がつくるライン



まるごと楽譜！
メロディが
おこるね



☑ 大きさと色



色が似ていたり、
交互になっていると
リズムがカル!



☑ 植物や塀のバリエーション



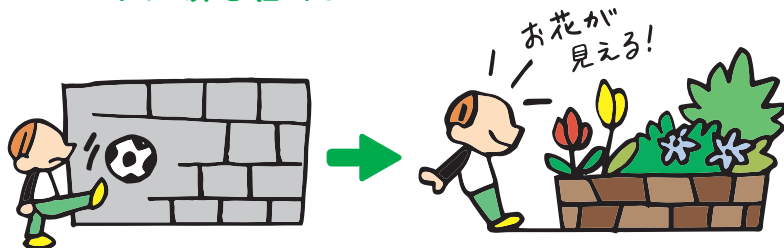
最後に外構で
アレンジを加えて、
曲のできあがり!



サイズを考える

背の高い塀は圧迫感を与えます。また、地震で倒れると大きな被害になります。高さを低くしてみましょう。道路も広々気持ちよく、コミュニケーションも豊かになって、安心できるまちになります。

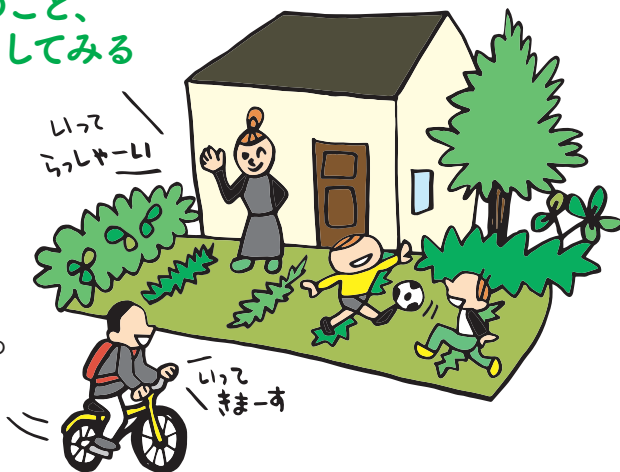
☑ ブロック塀を低くしてみる



ブロック塀を少し低くして、代わりに花や木を植えてみては?

☑ いっそのこと、塀をなくしてみる

塀をなくせば
家の前も広々、
子どもたちの格好の
遊び場に。

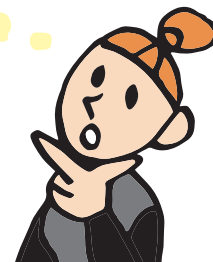


いって
らっしゃーい

いって
きまーす

まちを感じてイメージしてみる

毎日過ごすまちも、耳をすませたり、手で触れたり、香りを楽しんだりすれば、新しい発見があるはずです。あなたの家のまわりや見ている風景、過ごしているまちがこんな風だったらいいな、と考えることから、もうまち並み景観づくりは始まっています。



時間の流れを感じる

朝・昼・夜、春・夏・秋・冬、時間の流れによって風景は変わります。そのときどきの風景を感じてみましょう。

☑ 1日を彩る風景

朝の目覚め、昼間の活動、夜のくつろぎ。
1日の流れとその風景を思い出して、こうだったらいいな、という風景をイメージしてみましょう。

朝の光や音

昼間の日除け

ホッとする帰宅時間



☑ 季節を彩る風景

花や木を育てたり、イベントに参加したり、季節を楽しみましょう。

季節に合った花や木を植える

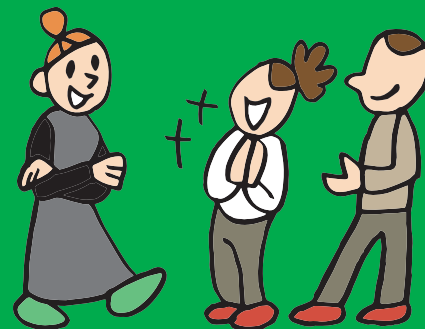
行事に参加する



季節らしさで飾る



まち並みハウツー つながると、いいね! 編



ひとりでできることから、もう一歩進んでみましょう。いろいろな人やイベント、まちとつながれば、素敵なまちづくりが広がります。

コツコツの積み重ねが 地域やまわりを動かす

行徳・妙典地区

1 プランターを並べてみる ところからスタート

花と緑いっぱい運動  P.12
通り沿いに花のプランター
10個を並べたことがきっかけに。



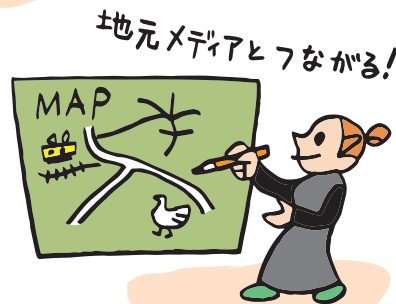
2 親子で楽しめるまち歩き イベントを開催



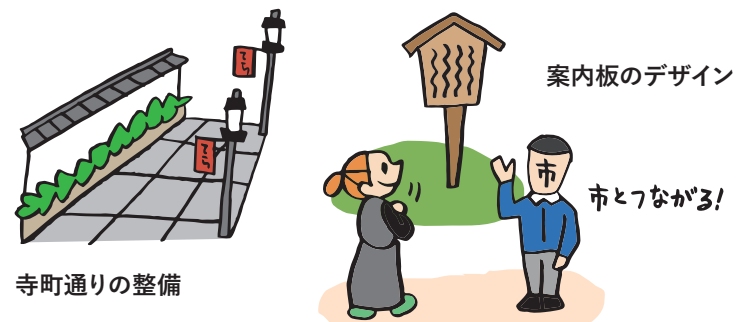
 P.9
親子まち探検
お寺を拠点に、親子で
地域の歴史や文化を
知るイベントを開催。

3 地域をPR! タウンマップの制作

まち歩きタウンマップ
地元新聞の協力のもと、まちの
資源を巡るルートマップを作成。



4 地域住民が提案して市が実現



寺町通りの整備

5 地域資源を活用する イベントの開催



寺のまち回遊展の自主開催
地域の寺社や旧家を巡るまち歩き。
出店やイベントのお楽しみも。

6 みんながつながる イベントを開催



 P.24

「行灯」工作教室&ライトアップ
小学生が手づくりした行灯で
お寺の境内を照らす、夏の風物詩。

数多くの寺社や史跡が残る行徳・妙典地区。寺町の風情と歴史が感じられるまちづくりも、最初はたった10個のプランターを並べるところから始まりました。小さいことからコツコツと積み重ねることで、市と連携し、幅広い世代が参加するまちづくりへと広がっています。

歴史を未来につなげるために

トピックで見る行徳・妙典地区

古くからのまち並みと新しくつくられたまち並みが隣り合うまち。

未来を担う子どもたちとワークショップ

未来を担う子どもたちに、地域への愛着を持ってもらう
取り組みをたくさん行っている。

親子まち探検

親子で参加して地域の歴史や特徴を学ぶ、発見型ワークショップを開催。



新しく地域に移ってきた住民や子どもたちに、まちの歴史を伝えられるいい機会になっています。



「行灯」工作教室 &ライトアップ

工作教室は、子どもとその親が地域に触れるきっかけに。近隣から見に来る人も。



自分でつくると楽しい。
お母さんにも見てほしい！



寺のまちらしさを守り、つなげる

地域のあちこちに歴史ある景観資源が存在しているのが、この地域の特徴。
寺町の良さを知り、寺町らしさを守るため、地域がつながる活動をしている。

寺町を住民で考える “てらまち会”発足

住民主体でまちづくりを考える団体を結成。
市との連携や自主企画などを担う。

始めたからには、
責任を持って最後まで
関わり続けたい。



寺町周辺の整備

住民のこうだったらいいな、
というアイデアが実現。



案内板



常夜灯



寺町通り

寺町らしい
風景を守ろう。

電柱がなくなって
すっきり！



寺のまち回遊展

古くから多くある寺社や旧家を
巡りながら地域の歴史を学ぶ催し
も楽しめる。



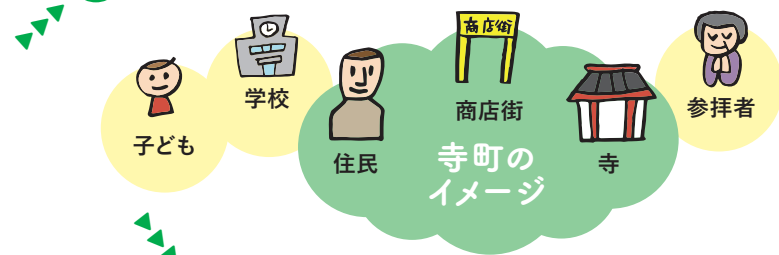
出し物やお店もあるから
親子で楽しめます。

古い建物巡り
も楽しい。



駅から中山法華経寺まで長く続く参道は、中山地区の玄関。寺町らしさを失いつつあった参道を元気にさせるために、まずはたどり着きたい地域のイメージを想像して、みんなで共有。商店、住民、お寺、市が協力して、共有したまちの理想像へ近づけるアイデアを出し合い、実現に向けて取り組んでいます。

4 イメージを共有して協力し合う P.23

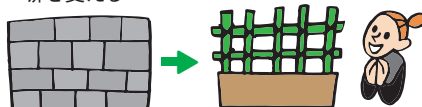


5 話し合って具体案を実現

ハードの整備は市と協力して、ソフトのイベントは自主事業として展開。理想のイメージへ近づけていく。

ハード | 通りや外装の整備・塀を変える P.17-22

塀を変える



外装を変える



街路灯や舗装の変更と無電柱化



ソフト | イベントやお祭りの開催

お寺や各店先に
おひなさまを飾る



6 この共有の輪をもっと広げるには……？



気持ちをひとつに、法華経寺参道の趣きを甦らせる

中山地区



1 まちのお悩み

寺町の活気がないことに
住民が思い悩む日々。

2 理想のイメージを探る P.25

住民が理想のまちの
姿を思い描く。

もう考えてるんだ！けど...

案は私も
小出しでたの！

3 身近ないいね！を増やす



ハード | 参道のビフォーアフター

平成20年より、寺町らしい風景をイメージして、街路灯・舗装のデザインや参道沿いの商店・住宅の外装を変える“修景”を少しずつ進めている。

参道沿いの建物の外観を変える



ビフォー

目立つ色の軒先を
落ち着いた色に。

アフター



ビフォー

金属のフェンスを
竹垣に。

アフター



格子をつけて
風情あるたたずまいに。

普通の住宅でも
寺町らしさは出せる！

街路灯の色・道路舗装の変更と無電柱化

街路灯の色を変更。
アスファルトを石畳風にし、
無電柱化も実現。

街路灯の色を決める
話し合いをしたときに、
みんながひとつに
なれた気がする。

電柱がなくなって
空が広がったね。



ビフォー



アフター

ソフトとハードの合わせ技

トピックで見る中山地区

ソフト | にぎわいイベントの開催

中山法華経寺がまつる子育ての神様鬼子母神にあやかり、子どもたちの健やかな成長を願うイベントとして、お寺と参道沿いの各商店や集会所におひなさまを展示。住民や学生のボランティアも参加する。

中山のおひなまつり

毎年2月～3月、参道全体で
おひなまつりを開催。



参道は地域の顔。
折り紙でつくる
おひなさまをいらした方へ
おもてなしするのが
中山流。
オリジナルグッズを
販売して、開催費用に
充てています。

町会



2軒から始めましたが、
今では参道全体に
一体感が出て、
一緒にイベントを行うなかで
人と話す機会も増えました。

住民、商店、お寺が協力して繰り返し
イベントをやったおかげで、
「このまちは寺町なんだ」という
イメージも定着したんじゃないかな。

商店会

中山
法華経寺

ほかに、骨董市、参道の花植えを開催

住民ひとりのアイデアが、地域に広がって実現

真間の行灯ライトアップ

1 住民ひとりのアイデアが発端



真間山弘法寺の参道入口にあるお肉屋さんで、参道を元気にしたい！と立ち上がったところからスタート。

2 仲間が仲間を呼んで実行委員会を結成



まずは商店街の仲間に相談。その話が知り合いに広がり、「いいね！」が集まる。

3 地域のお寺や学校とも連携して、企画が実現へ

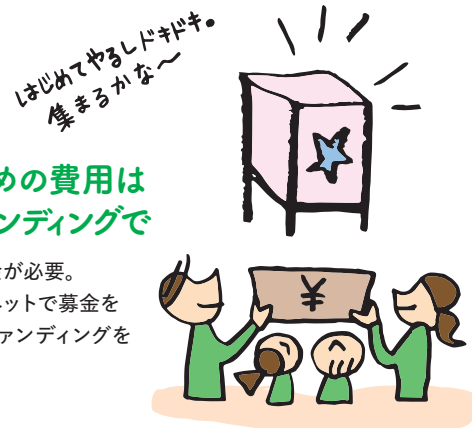
商店街の仲間や住民だけでなく、地域の輪はお寺や学校へ。



地元のお寺・真間山弘法寺の石段に行灯を置いて照らす「真間行灯ライトアップ」。発案者は参道の入口、大門通りで商店を営む住民のひとり。地域の人々への声掛けから輪が広がり、商店街だけでなく、お寺や地元の大学、小学校まで巻き込んだイベントへと発展しました。実現するための費用集めにも住民のアイデアが光ります。

4 実現するための費用はクラウドファンディングで

実現するには資金が必要。そこで、インターネットで募金を集めるクラウドファンディングを立ち上げる。



5 ライトアップ開催

資金も集まり、いよいよ開催。地元住民はもちろん、近隣からも多くの人が訪れて大成功。

📖 P.24

市が行うイベントを自分たちの チャンスに変える

北国分駅前イルミネーション



市が展開するイルミネーションをきっかけに、住民が「カウントダウン点灯式」を開催。住民や子どもが駅前に集まり、歌ったり踊ったり、にぎやかにお祝いました。ゼロからつくらなくても、まちの新しい取り組みをキャッチすれば、地域ならではの活動につながります。

4 企画の実現・イベントの開催 P.24

住民のネットワークを駆使して、イベントを実現。



5 続けるためには どうするか考える

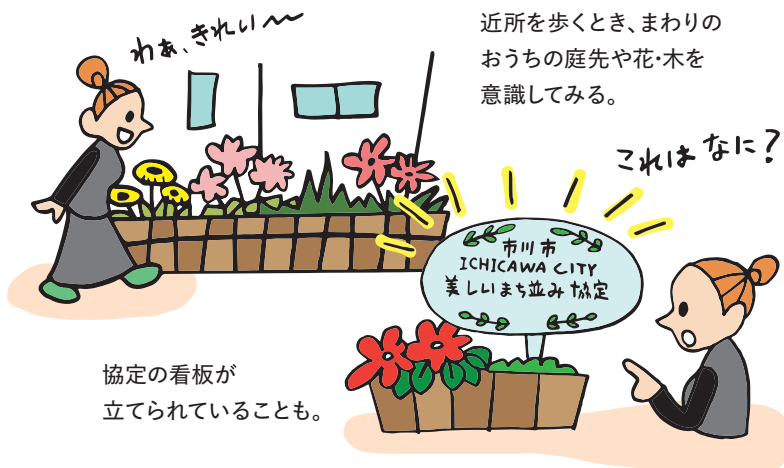
1回限りではもったいない。
地域への愛着を糧に
次の展開を考えてみましょう。



仲間を集めて、制度を使って パワーアップ！

美しいまち並み協定

1 きれいなまち並みに気づく P.8



2 制度を知る

これは？と思ってしま
う小さなものにも、まち並み
に関するいろいろな制度が。
お得な情報もあるので
調べてみましょう。

3 やりたい気持ちを持つ



「やりたい！」に人を巻き込む
のも大事なこと。
輪を広げて理想のまちに
近づけていく。

4 仲間を集める



5 実現！ P.17



6 仲間を増やしていく P.16

小さな輪がつくれたら、
どんどん続けて広げていきましょう。



地域の建築や植栽、駐車場などのルールを、一体的に決めて守っていく景観協定。住民同士が自主的に進める「既存協定」と、企業が開発するときに「一人協定」としてつくった分譲地を買う2通りがあります。デザインが練られたまち並みは、維持するためのコミュニケーションを生み、それが地域の安心・安全や土地の資産価値の向上にもつながります。

つなげて、買っても、 どちらもまちづくり。

景観協定

※詳しくは、市役所でもらえる「景観協定の手引き」をご覧ください。

今住んでいるところを 素敵なまち並みに

既存協定

ここももっと
素敵になれば
いいのにな～

スタート
◀◀



素敵な場所に住むには、
どうしたらいいでしょう？

素敵な まち並みの中で 暮らしたい！

どんなまちに
住みたいかな...

素敵なまち並みの ところに家を買おう！

一人協定

素敵なまち並みを
つくろう！



ハウスメーカー
などが、素敵な
まち並みを
デザイン。

住んでいるまち並みをもっと良くしたい。
理想のまち並みをイメージする。

いっしょに
やろう！

イメージを、
お隣さんや
ご近所さんに
伝える。

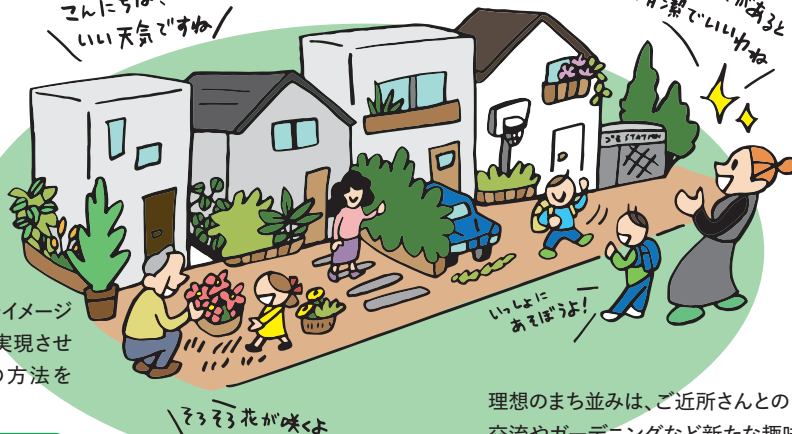
みんなで
塀をそえてみる？



みんなでイメージ
を固め、実現させ
るための方法を
練る。

📖 P.17-23

こんにちは、
いい天気ですね！



ゴミボックスがあると
清潔でいいやね

いっしょに
あそぼうよ！

そろそろ花が咲くよ

理想のまち並みは、ご近所さんとの
交流やガーデニングなど新たな趣味、
安心・安全までももたらしてくれます。

新しく家を買う、
そんなときに
素敵なまち並みの
分譲地を探して
みる。

ここよさそう！



はじめまして！



いよいよお引越し。ここからは私たち
住民のまち並みづくりのスタート！

“育てる”がまちをつくる ここに住む住民の場合

景観協定のあるまちに住み続けるためには、維持管理が必要。
子どもも家族も植物もまちも一緒に育つまちづくり。

塀をなくして遊び場広々。一緒に子育ても。



お友達をすぐ見つけて、
一緒に遊ぶよ。



道と庭、お向かいやお
隣の庭まで一体となっ
て、子どもにうれしい
遊び場が生まれる。

玄関から出ると道やまわりの
家々がすぐ目に入るので、
自然とあいさつできますね。



ガーデニング



植栽や生垣を維持するには
ガーデニングが必至。

手間もかかるけど、庭いじり
がお隣との会話のきっかけに
なるし、季節の変わり目を
感じさせてくれる。



いつでも清潔 ゴミ管理



ゴミもしっかり
管理できるので、
カラスも来ないし
見た目もきれい
なのがいいところ。
気持ちよく
使っています。

ふた付きの
ゴミストッカーが
あれば、清潔・安心。



コミュニケーションが 自然と生まれるまち

トピックで見る景観協定



素敵なまちをつくる 分譲住宅を計画する企業の場合

分譲地を計画する企業は、景観に関わる部分について市と話し合い、
プランをブラッシュアップ、実際のデザインに反映していく。

灯りのあるまち



日が暮れると街灯や
家の玄関に灯りがつき、
帰りたくなる家の雰囲気を
演出します。



夕暮れにはまち全体に
灯りがつき、美しい家並
みが浮かび上がる風景
をイメージして設計。

ガーデニングワークショップ



植栽のお手入れ
指南と一緒に種ま
きなど、住民の交
流を育てるワーク
ショップを開催。

もともと計画している
植栽は、住民の方に育てて
もらいたい。
そのためのハウツーを
学んでもらいつつ、交流が
生まれる機会になれば
と思います。





もう一度
自分のまちを
見てみよう。

ひとりからできる！

まち並み景観づくりハンドブック

発行日

平成 29 年 3 月

編集

市川市 街づくり部 まち並み景観整備課

アート・ディレクション & デザイン

加藤賢策 (LABORATORIES)

イラスト

大橋慶子

編集補助

柴原聡子

発行

市川市



TEL: 047-334-1111 (代表)

URL: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>



この本を読んだら、
もう一度近所を散歩したり、
サイクリングしてみよう。
読む前と後、見えてくる風景は
どう変わりましたか？

